

重層的支援体制整備事業 ご担当者の皆様へ （令和7年4月更新）

超解説（1730秒でわかる） 重層的支援体制整備事業の取り組み方

～当事者だからこそ伝えられる『4年目のリアルと効果』～

＊この資料は、様々な重層研修でご紹介させていただいた資料の『総集編』です。

（愛知県 稲沢市社会福祉協議会 福祉総合相談窓口）

この資料は、稲沢市の重層推進担当者の『重層推進奮闘記』である！

社協の多機関協働担当（相談支援包括化推進員）が3年間、実際に取り組んできて『上手くいったこと』や『苦勞したこと』等、余すことなくお伝えします！

『等身大の取り組み紹介』だからこそ『明日から使えるヒント』がある！

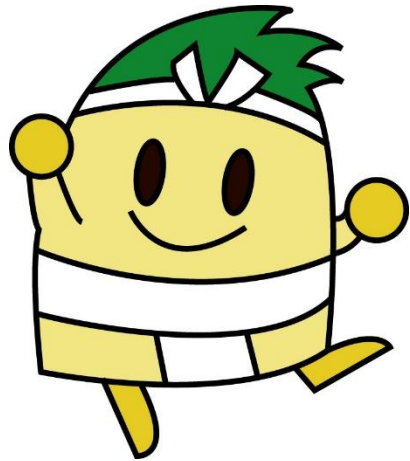
取り組む場所は違えども、同じ重層推進に奮闘する仲間として何か一つでも

『皆さんの取り組みの参考』になることができれば、幸甚です！

もくじ

- 1 愛知県 稲沢市（社協）のご紹介
- 2 稲沢市が目指す『包括的な支援体制』とは？
- 3 重層推進の考え方（重層推進の効果）
- 4 具体的な取り組み方『How-to 重層』
- 5 課題への挑戦
- 6 おまけ『これから重層に取り組む、全ての社協へ』 閲覧注意！

1 愛知県 稲沢市（社協）のご紹介



©稲沢市 いなっピー

今年で『**4年目**』

まだまだ、道半ば・・・



稲沢市社会福祉協議会
マスコットキャラクター『福ちゃん』

稲沢市の概要

愛知県の北西部 濃尾平野の中央に位置

人口：132,435人（令和7年4月）



- ・ 令和4年度から
『福祉の拠点』を中心に重層を展開！
(稲沢市役所東庁舎1階の総称)

愛知県内でも珍しい！
福祉課と社協が隣どうし！



1-1 稲沢市の特徴

- ・ **福祉課と社協（福祉総合相談窓口）が重層の推進役**

福祉課 ⇒ 全体の調整役（財源確保、庁舎内連携、後方支援 等）

社 協 ⇒ 包括的な支援体制づくり（稲沢市 e n モデルの充実）

複雑・複合的な課題を抱えたケースの支援調整

周知啓発（研修会の開催）、情報収集、社会資源の開発 等

- ・ **生活困窮者支援をベースに『仕組みづくり』を展開！**

稲沢市は『市役所と社協が一体』となって重層を推進しています！

毎日のように福祉課の重層担当と『対話（雑談・意見交換）』しています！

【担当者の独り言】

結局は『人』、双方の担当者間の『コミュニケーションの総量』が重層推進の明暗を分けると思っています！（同じ目標に向かって進むためには、対話が9割）時代錯誤ですが『飲みニケーション』は、今も効き目抜群！

1-2 主要5事業の全てに社協が携わっています！

①誰一人取り残さない相談支援事業（包括的相談支援事業）

基幹包括（3名）、基幹相談（2名）、福祉総合相談窓口（8名）、成年後見（2名）

②参加支援事業

福祉総合相談窓口（居住支援・就労準備支援事業）、CSW＝生活支援コーディネーター（居場所づくり）

③地域づくりに向けた支援事業

CSW（生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーター 5名）

④多機関協働事業

福祉総合相談窓口（相談支援包括化推進員＝重層の推進役）

⑤アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

福祉総合相談窓口（従来のアウトリーチ）、CSW（早期発見型のアウトリーチ）👉地域に潜在するニーズをキャッチ！

1-3 重層推進の要、福祉総合相談窓口の役割

①生活困窮者自立支援事業

家計改善支援事業、就労準備支援事業、子どもの学習・生活支援事業

②多機関協働事業（相談支援包括化推進員＝重層の推進役）

アウトリーチ事業、参加支援事業、ひきこもり支援事業（LINE相談含む）

③居住支援事業（居住支援法人格を取得）☞社協では珍しい！

『参加支援事業』に『居住支援』を位置付けて取り組んでいます！

『住まい支援システム』×『稲沢市e nモデル』の融合を模索中・・・

～ 居住支援×SDGs ～

居住支援法人 稲沢市社会福祉協議会

住宅確保要配慮者居住支援法人 愛知第25号(令和4年3月16日 愛知県指定)

住宅確保要配慮者居住支援法人とは、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進を図るため、住宅確保要配慮者に対し賃貸住宅への入居に係る住宅情報の提供・相談、見守りなどの生活支援等を実施する法人として都道府県が指定するものです。

○ 支援対象(稲沢市在住)

生活困窮者、高齢者、障がい者など、住まいにお困りの方

○ 支援内容

① 住み慣れた住居で安定した生活を送るための支援

「家賃滞納」「心身の状態に不安がある」「仕事がない」など

生活を維持することが困難な課題に対して、必要な制度や支援機関に繋がります。

例) 就労支援………生活困窮者自立支援事業(福祉総合相談窓口)

介護保険制度………地域包括支援センター、高齢介護課

障害福祉サービス………基幹相談支援センター、相談支援事業所 など

② 家探しが必要な世帯に対する入居支援

「家賃が高い」「立ち退き」「住み替え」など

市内の協力不動産店と協力し、新しいお住まいを一緒にお探しします。

大家さんに断られてしまう「課題」に対し、支援機関が包括的に支援をすることで、大家さんの不安が軽減されるようアプローチします。

社会福祉法人 稲沢市社会福祉協議会

福祉総合相談窓口(居住支援担当) ☎ 0587-32-1484

〒492-8269 稲沢市稲府町1番地 稲沢市役所東庁舎1階

開設時間：月～金 8時30分から17時15分まで(祝日・年末年始は除く)

支援の流れ(家探し)



(このリーフレットは、稲沢市社協のホームページからダウンロードできます)

1-4 重層の中心で連携を叫ぶ社協

重層の推進は『主要 5 事業の強化と一体的連動』

社協がハブとなって多職種連携の強化を図っています！

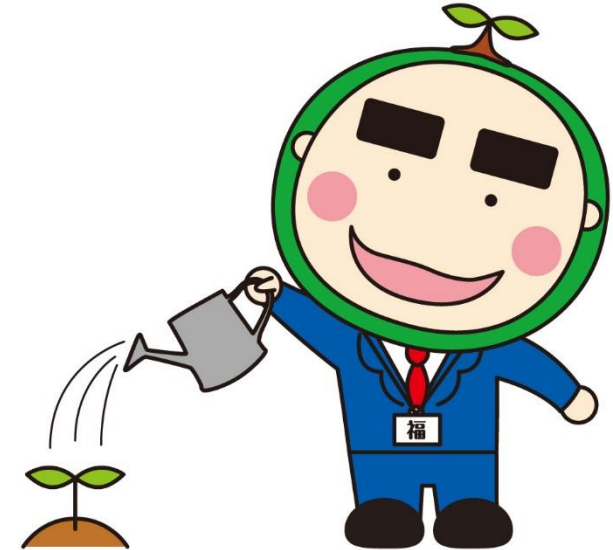


主要5事業に携わる、高齢 や 障がい、権利擁護、地域福祉 等

社協の各部門が起点となって多職種連携を広げます！

2 ここからは、稲沢市が目指す 『包括的な支援体制』をご紹介します！

みんなの 『縁』 を育ててます！



2-1 稲沢市が目指す『包括的な支援体制』とは？

① 支援者を支援する仕組み 『稲沢市 e n モデル』 の充実

② どんな相談も 『福祉の拠点』 で受け止める支援体制

福祉の拠点：市役所 東庁舎 1階（福祉課と社協）の総称

社協の中に 『福祉総合相談窓口』 があります！

③ 分野を超えた支援者同士が繋がっている支援体制

みんなが『顔見知り（気軽に相談しあえる関係）』になるのが理想！

みんなで創る

『稲沢市の包括的な支援体制(重層的支援体制整備事業)』イメージ図 [実施主体:稲沢市]

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第1の柱 誰一人取り残さない相談支援事業

(世代や属性を問わず包括的に相談を受け止める体制づくりとチーム支援の強化)

【関係部署】

学校
(スクールソーシャルワーカー)
病院
(医療ソーシャルワーカー)
社会福祉法人
消費生活センター
区民・民生委員さん
保護司さん
大家さん
(市役所 関係各課) 等

【高齢】

地域包括支援センター
基幹型地域包括支援センター
(高齢介護課)

【障がい】

基幹相談支援センター
相談支援事業所
(福祉課)

連携

【生活困窮】

福祉総合相談窓口
(福祉課)

【子ども】

こども家庭センター
子育て支援センター
(子育て支援課・保育課・健康推進課)

みんなで一緒に
支援(縁)の輪を
広げよう!!



第2の柱 参加支援事業

(社会との繋がりを回復するための支援策の充実)

福祉総合相談窓口・生活支援コーディネーター・企業・法人・団体 等

①見守り等居住支援の充実

②就労(準備)支援の充実

③多様な居場所づくり(人や地域との繋がりの場づくり)

◎3本柱の強化と一体的な
連動が重要!!

◎私たち全員が当事者です!!

アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
(早期発見型アウトリーチの強化)

福祉総合相談窓口・生活支援コーディネーター

地域や関係機関との連携強化によって、ひきこもりや
8050世帯等、支援が必要な方を早期に発見し、適切な支援
につなぎます!



【稲沢市enモデル】

専門外の相談や複雑・複合課題を抱えた個人(家族)
の相談は、全て「福祉総合相談窓口」が集約し、適切な
支援に繋がります。

【福祉の拠点】福祉総合相談窓口(多機関協働事業)

支援の視点は、「家族の全体最適」と「チーム支援の強化(多職種連携)」

ステップ① ブラッシュアップ会議

(まずは、社協の専門職で複雑・複合課題の解きほぐし)

社協
(福祉総合相談窓口・基幹型地域包括支援センター・基幹相談支援センター・成年後見センター・生活支援コーディネーター)

ステップ② 稲沢市福祉総合相談対策支援チーム会議(支援会議) *関係機関

(市役所の専門職を加え、多角的な視点から家族全体の支援方針や役割分担等を更に検討します)

市役所(福祉課・子育て支援課・健康推進課) 社協 必要に応じて関係機関も参加

ステップ③ 稲沢市重層的支援会議(生活困窮者自立支援調整会議)

(稲沢市として支援方針や役割分担等の最終決定、支援の評価、不足する社会資源を検討します)

市役所(福祉課・子育て支援課・保育課・健康推進課) 社協



支援(縁)の輪

第3の柱 地域づくりに向けた支援事業

(地域の縁づくりと異業種が交流できるプラットフォームづくりの強化)

①世代や属性を超えて交流できる場や居場所の整備(多様な居場所づくり)

【高 齢】 地域介護予防活動支援事業(高齢介護課)・生活支援体制整備事業(福祉課)

【障 がい】 地域活動支援センター事業(福祉課)

【生活困窮】 生活困窮者支援等のための地域づくり事業(福祉課)

【子 ど も】 地域子育て支援拠点事業(子育て支援課)

②社会資源(共通価値)を共創する場の整備(地域貢献活動の活性化)

異業種が集う様々なプラットフォームの整備(福祉総合相談窓口・生活支援コーディネーター)

社会資源の創造 = 地域の困りごと × 地域の力 × みんなの想い

社協のHPから
ダウンロード
できます。

各種相談

↓
福祉総合相談窓口

↓
重層的支援体制
整備事業

↓
重層リーフレット

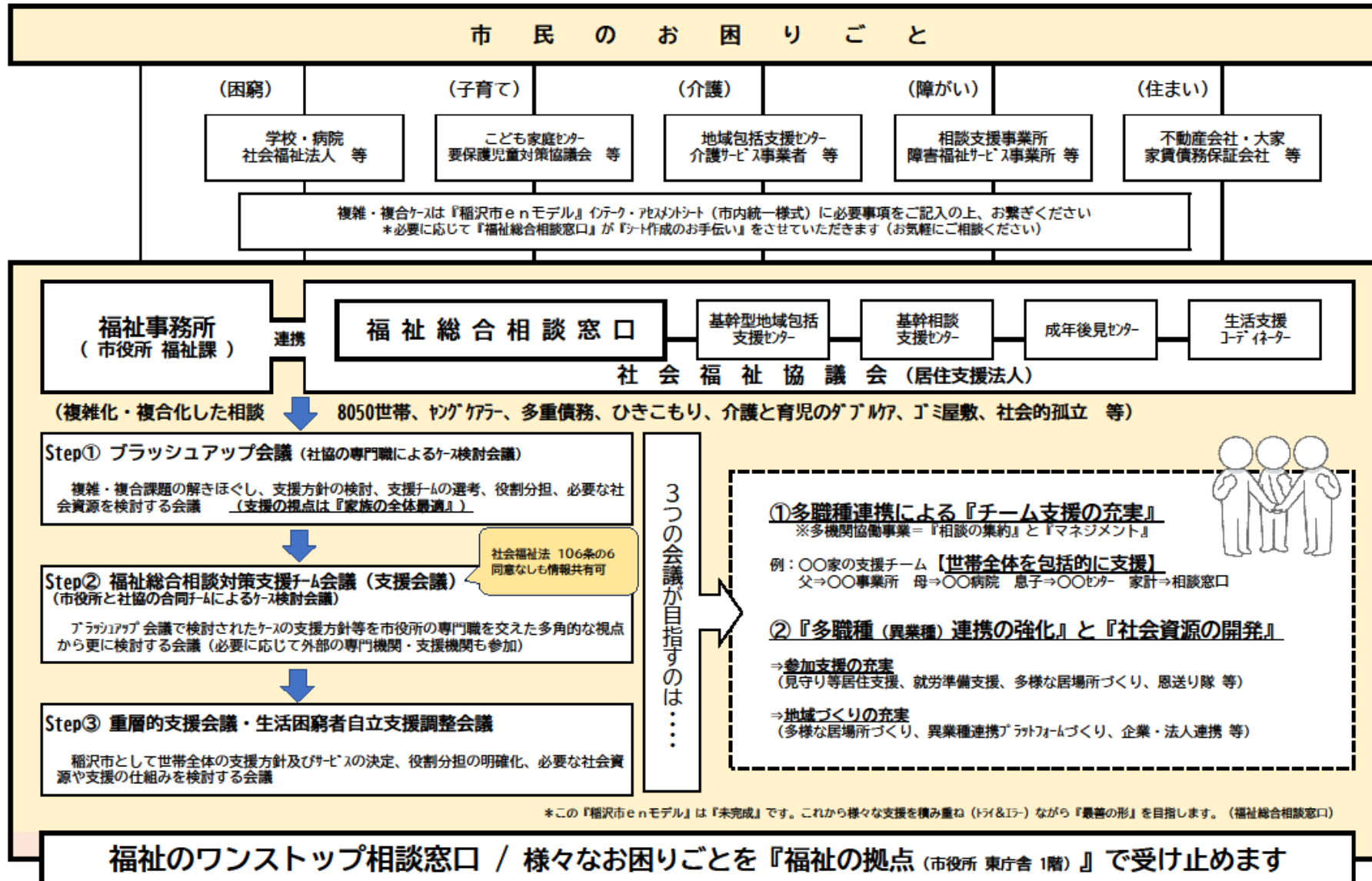
2-2 支援者を支援する仕組み『稲沢市 e n モデル』

【多職種連携のフロー図】

- ・ 複雑・複合課題の相談受付から支援開始までを可視化したもの
- ・ 福祉総合相談窓口が受付けた複雑・複合課題を抱えたケースは 『3段階のケース検討会議』 で支援方針等をブラッシュアップします！
- ・ これらの会議には、様々な専門職が集まり 『複眼的な視点』 から 『世帯全体の支援方針』 を検討します！

重層的支援体制整備事業 『稲沢市enモデル（多機関協働による『包括的支援体制づくり』の全体像）』（ver.3 2024/6更新）

【みんなで強化するポイント】⇒ ①支援者を支援する仕組み ②どこからでも専門機関に繋がる仕組み ③複雑・複合課題をチームで支援する仕組み



社協のHPからダウンロードできます。

各種相談

↓
福祉総合相談窓口

↓
重層的支援体制整備事業

↓
稲沢市enモデル

3段階の会議で支援精度を高めます！

各会議の検討視点は『世帯の全体最適』と『チーム支援の充実』

step①ブラッシュアップ会議（複雑ケースの解きほぐし及び支援プランの素案作成）



社協の専門職によるケース検討会議（新人相談員のOJT・SV機能を兼ねる）

step②福祉総合相談対策支援チーム会議（『支援会議』）



市役所の専門職を含めたケース検討会議（必要に応じて関係機関も参加します）

step③重層的支援会議（生活困窮者自立支援調整会議）

現場レベルで検討した支援プランや役割分担等を最終決定する会議

対策支援チーム会議（令和7年1月15日）の様子



この日は、豊川市の皆様が見学されました！

【ポイント】

対策支援チーム会議は、参加メンバーの

『スキルアップの場』でもあります！

ケース検討を通し

各分野のベテラン専門職の知識や経験、感性、
アセスメントの視点や関わり方のコツなど
支援のノウハウ（暗黙知）も学び合います！

3 つの会議では『ケース検討』を通して

『多職種連携の課題共有』や『e nモデルの改善』

『稲沢市に不足する社会資源の開発』

も検討しています！



元気になったら、今度は、あなたが、誰かを支えてください

令和5年度開発『稲沢市恩送り隊』 ～『パイフワード』の仕組み創り～

福祉新聞→

令和5年7月25日

←中日新聞

令和5年7月11日

(本会のホームページに掲載)

中日新聞

2023年(令和5年)7月11日(火曜日)

地域で助け合い「恩送り活動」



困っている人と助けたい人マッチング

稲沢市内の若手経営者らが、生活困窮世帯の困り事を解決する仕組みづくりに挑戦している。その名は「恩送り活動」。市社会福祉協議会の協力を得て、支援が届かないことで悩む市民と、地域貢献をしたい人々をマッチング。「支援を受けた人が元気になったら、いつか別の人を助けよう。そんな良い縁をつなごう」と意気込む。

(寺田結)

稲沢の若手経営者ら 清掃など支援届かない人に

六月末、市内のある二戸建て住宅にメンバー三人が集まった。庭の草木が生い茂り、周囲の家や駐車場、通学路に飛び出し、通行を妨げている。三人は住人と相談した上で、清掃を開始。持ち込んだ機械を使って一気に片付けた。

この家に住むのは、ひきこもりの男性一人。処理するべきには分かっていたが、近所の目が気になって外に出られず、放置せざるを得なかった。しかし、自治体の制度では現状に対処できないのが現状だ。そこで手を挙げたのが、市内でエスエム造園の事業を営む山下雄基さん(三三)＝同市平和町。昨年秋、地域貢献ができないかと市社会福祉協議会に相談し、恩送り活動の一環として、メンバーは市内で



が市から受託している重層的支援体制整備事業の中の参加支援事業として取り組む。困窮者を支援するボランティア(企業や社会福祉法人など)を募集し、同社協の福祉総合相談窓口で支援が必要と判断された困窮者、引きこもりの人やヤングケアラーなどに対し、庭の雑木の伐採、ゴミ屋敷の清掃、フードドライブ、居場所づくり、就労体験受け入れなどを行う。困窮者はいつか元気になったらできる範囲で誰かを支援する。恩送り活動の一環として、メンバーは市内で

困窮者の庭の雑木を伐採する恩送り隊

稲沢市社協 恩送り隊が始動 次の困窮者につなぐ

東海・北陸

愛知県の稲沢市社会福祉協議会は、困窮者支援の一環として6月に「恩送り(パイフワード)隊」の活動を始めた。パイフワードとは「自分が受けた善意をほかの誰かに返してつないでいく」と。2000年に映画のテーマで取り上げられ、広まった。同社は恩送り隊の活動をこもりの人やヤングケアラーなどに対し、庭の雑木の伐採、ゴミ屋敷の清掃、フードドライブ、居場所づくり、就労体験受け入れなどを行う。困窮者はいつか元気になったらできる範囲で誰かを支援する。恩送り活動の一環として、メンバーは市内で

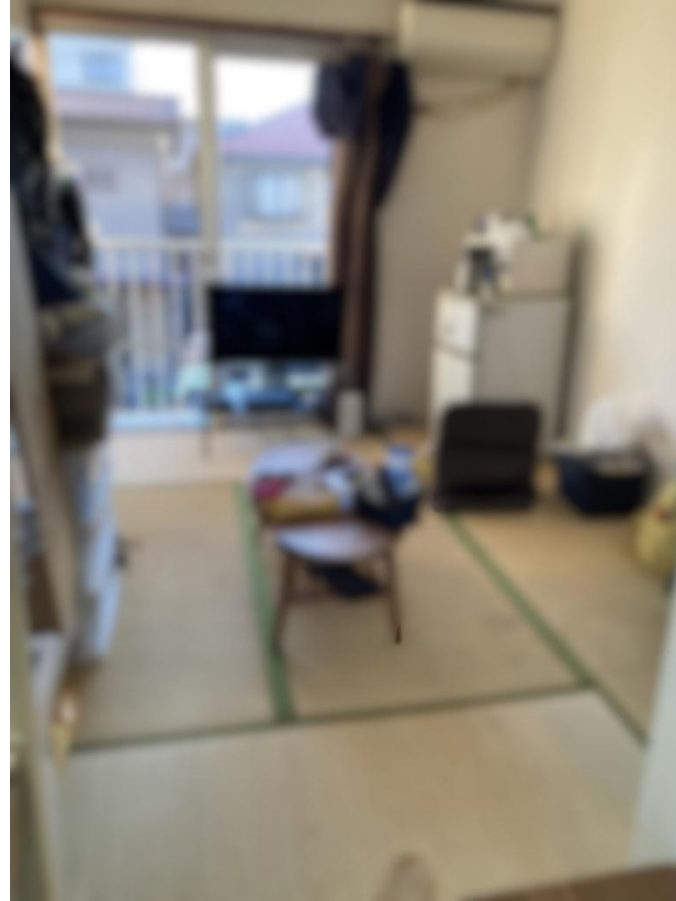
恩送り隊の活動紹介

(令和6年5月 単身40代男性)

活動前



活動後



【お礼】

思っていたよりも綺麗になり、とても気持ちよく過ごせるようになりました。（40代男性）

【恩送り隊の感想】

今回も困っている方のお役に立てることができました。家主と一緒に片づけを行い、最後に笑顔でお礼を頂けたことがこれからの励みになりました。（隊長の山下氏）

2-3 『参加支援の充実』が一番難しい！

～ 『個別支援』と『地域支援』の架け橋づくり～



参加支援事業は『既存の仕組みでは対応できないニーズ』に対応するため、社会資源を活用し、社会との繋がり創りに向けた支援を行う事業

既存の社会資源とのマッチングや

『ニーズに合った、新しい支援メニューを創る事業』

*** オープンイノベーション**

(= 社会資源開発) * 組織内外の知識や知恵を組み合わせることで付加価値を創造すること

(社会資源開発)

参加支援充実の公式 (* 担当者の仮説です。只今、検証中！)

$$\underline{A \times B \times C = 『恩送り隊』} \quad (\text{無償の地域貢献活動})$$

恩送り隊は、社協職員の『妄想』と若き経営者の『熱い思い』から生まれました！

A 既存の仕組みでは、解決できない 『ニーズ (困りごと)』

(生活困窮世帯の①ゴミ屋敷片づけ、②草木の伐採、③引越しの手伝い 等)

B 社協職員の 『情熱と創造 (妄想) 力』  ここが『0』だと…

C 稲沢市民の 『地域貢献活動への熱い思い』

私たちは、参加支援の充実を通して

『恩送り（* Pay it forward）の文化』も

広めていきたい！

* 自分が受けた善意を他の誰かに渡す（送る）ことで、
善意をその先に繋いでいくこと

このように 稲沢市では、これまで取り組んできた（築いてきた）

『社協の強み』を活かした重層を展開しています！

重層は、市町村の『創意工夫』で取り組むもの！

だから 『1700通りの形』があっというんです！

3 ここからは 『重層推進の考え方』をご紹介します！

重層推進のキーワード

重層は『共感と共創』が9割



3-1 重層の推進とは何か？

- ・ 主要 5 事業の強化と一体的連動を図ること

- ・ 既存の仕組みをより良くし、それらを『連動』させていくこと

- ・ 多職種（異業種）連携を強化すること

多職種連携は『様々な関係者と苦楽を共にする支援の過程』で育まれます！

『〇〇連携会議』で本当に連携ができるなら苦労しない！（怒）

重層推進（包括的な支援体制づくり）は、

行政及び関係者全員で取り組んでいくもの

誤解① 行政と重層の委託事業者だけで取り組むものではありません！

誤解② 『総合相談窓口の新設』や『支援体制の概要図を描くこと』
でもありません！（概要図を描いた時がスタートです！）

重層推進 = みんなで『支援体制の概要図』をブラッシュアップする過程

重層推進の公式（＊これも仮説です。現在、検証中！）

重層推進（包括的な支援体制づくり）

$$= \text{『制度理解』} \times \text{『取り組み方』} \times \text{『意識改革』}$$

（How-to 重層） （当事者意識の醸成）

↑ 現在、ここに苦戦中！

重層推進の要諦は『意識改革』にある！？（皆さんは、どう思いますか？）

『意識改革』なくして『主体的な協働（共創）』なし！

3-2 重層推進担当者の役割は？

①重層の目的を関係者に伝え（正確な周知啓発）

『何のため？誰のため？』（担当者は、明確に答えられるように！）

②関係者の『内発的動機（主体性）』を喚起し

当事者意識の醸成なくして、主体的な参加なし 『他人事 ⇒ 我が事』

③関係者を支援体制づくりに『巻き込んでいく』こと

重層は 『取り組む過程こそが重要』 ← 私たちは、ここを意識しています！

重層推進は『過程』が9割！

みんな『理想の支援体制』づくりに向けて

『取り組む過程』こそが『重層の推進』です！

【担当者の独り言】

『人を巻き込む・・・口では簡単に言えるが、実際は超絶困難！』

『人の行動変容を促す役割だからこそ、重層推進担当は、面白い！』

重層推進の効果

『複雑・複合課題に柔軟に対応できるようになる』だけではなく

- ①支援者の抱え込みやバーンアウトが減る（みんなで支えあうから）
- ②職場内外を含め横の繋がりが強化される（結果、仕事が充実する）

まわり回って、自分の仕事が充実する！

重層の充実で変わるのは『あなたの仕事への向き合い方』なのかも・・・
重層は、私たちの仕事を充実させる『便利ツール』にもなる！

4 次は、具体的な取り組み方 『How-to 重層』をご紹介します！

エッホ エッホ



『重層推進は、3手順でOK！』って
みんなに伝えなきゃ！

重層推進は、たったの3手順でOK！



Step① 取り組む前の確認事項（ここ重要！）

- ・意思決定

実施主体（市町村）が『重層移行の意思を明確にする』

『何のために取り組むのか？』 明確に言えますか？

（重層移行の意思が明確になったら）

- ・重層推進の担当者（自治体の旗振り役）を任命する！

重層は『創意工夫』で取り組むもの！

なので、『創意工夫』を『やりたいほうだい！』と読める人

『あれもやりたい！』『こんな仕組みを創りたい！』とワクワクできる人

自ら課題を設定し（他者を巻き込みながら）取り組んでいける人が適任だと思います！

Step① 内発的動機付けと基礎理解の徹底

- ・まず、担当者自身の『内発的動機（主体性）』を高める！

重層推進担当には『自ら考え、行動し続ける力 と 楽観力』が必要！

↑ このスキルを持つ自治体職員の有無が重層推進の明暗を分けます！

- ・重層の基礎理解を徹底する  『意識が高い』だけでは ダメ！

『制度』 『先進事例』 『我がまちの状況』 の3つを理解する！

『理解した』 とは 『自分の言葉で中学生に説明できる』 状態

基礎理解に最適！ ⇒ 『地域共生社会のポータルサイト（厚労省）』

Step② 情報収集（T T P A）と内情把握

- ・ 先進地を視察してT T P 『A』（様々な『重層の形』を知ろう）

重層推進のセオリーは、ゼロからイチを生み出すのではなく

先進地の取り組みを徹底的にパクって、我がまちの形に『アレンジ』する！

【注意】丸パクりは機能しません！ なぜかって？ 地域特性（社会資源）が違うから！

- ・ 我がまち（地域特性や社会資源等）の把握 （内側の把握）

内側の把握 = 既存事業や支援体制、社会資源の棚卸（再確認）

これを知らずして『理想の支援体制』を描くことは、できません！

重層推進のヒント①

『既存の強み（支援体制・社会資源）を活かして繋げる』

棚卸ができたなら『既存の強み（支援体制）』をベース（土台）
にして『重層の主要5事業』を繋げます！（相談支援×地域づくり等）

【担当者の独り言】

私たちは、稲沢市の既存の強み『生活困窮者支援の仕組み』を土台に、
先進地の〇〇モデルをパクって『稲沢市 e n モデル』を創りました！

Step③ 仮説形成と仮説検証

- ・ 仮説形成（ビジョンを『妄想し、見える化』させる）

厚労省の思い、社会資源、地域特性、強み、先進事例等を総合的に勘案し

担当者の妄想（理想の支援体制）を『見える化』させる！ 👉ここ重要

『見える化したビジョン（概要図）』がないと試行錯誤すらできません！

- ・ 仮説検証（試行錯誤と活動評価）

みんなを巻き込んで試行錯誤する『過程』こそが『重層推進』そのもの！

ビジョン（理想の支援体制の概要図）を描く際のポイント

- ① 既存事業（我がまちの強み）を活かしているか？
- ② 重層の主要5事業が連動しているか？
- ③ 先進地の取り組みをパクって（オマージュして）いるか？
- ④ 重層推進担当者の妄想（想い）が詰まっているか？
- ⑤ 分かりやすい紙 1 枚の相関図として描けているか？

『理想の支援体制の概要図（ビジョン）』が描けたら

後は、みんなを巻き込んで

試行錯誤（実践と検証）を繰り返すだけ！

後はP D C Aの繰り返し！

『ケース支援』と『対話』と『振り返り』をひたすら繰り返す！

ここが一番重要で、一番難しい！

概要図なんて未完成でも、間違っている、全く問題なし！

みんなでブラッシュアップする過程こそが重層の推進
なんだから！

とにかく 『動き始めること』 が重要なんです！

重層推進のヒント②

『多職種連携の秘訣は、対話と協働』

- ・用がなくても『対話（雑談）』する！

多職種連携の要は『関係者間のコミュニケーションの充実』に尽きる！

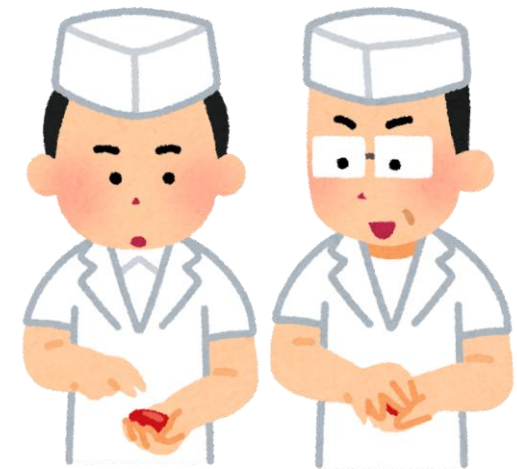
【担当者の独り言】

多職種連携は、様々な関係者との『何気ない会話（雑談）』と『苦楽を共にする支援の過程（協働）』で育まれます！

5 課題への挑戦

ベテランのスキル（支援の感性・機微＝暗黙知）を
如何にして、次の世代へ伝えていくか・・・

- 5-1 3年間で見えてきた課題
- 5-2 『人財育成』への挑戦
- 5-3 『腹落ち⇒我が事⇒協働』への挑戦
- 5-4 『活動評価』への挑戦



5-1 3年間で見えてきた課題

課題①『人財育成』

ベテランのスキルや感性を如何にして次の世代に伝えていくか？

課題②『当事者意識の欠如（＝周知啓発不足）』

まだまだ『他人事』（私、重層担当じゃないので・・・）

如何にして支援体制づくりに我が事として巻き込んでいくか？

課題③『重層推進の活動評価』

重層推進は、数字の大小だけで評価できない！

体制づくりや地域づくり等『見えないもの』をどう評価するか？



5-2 『人財育成』 への挑戦

『組織の枠を超えた「人財育成」の場を創る！』

- ・ 『SECI（セキ）モデル』 を応用し、組織の枠を超えた『人財育成の場（ブラッシュアップ/対策支援チーム会議を想定）』を創りたい！
- ・ ケース支援を通して 『みんなが成長する仕組み』 を創りたい！
- ・ 異分野のベテラン支援員の 『知識（経験）と感性（暗黙知）を共有できる場（学び合える場）』 を創りたい！

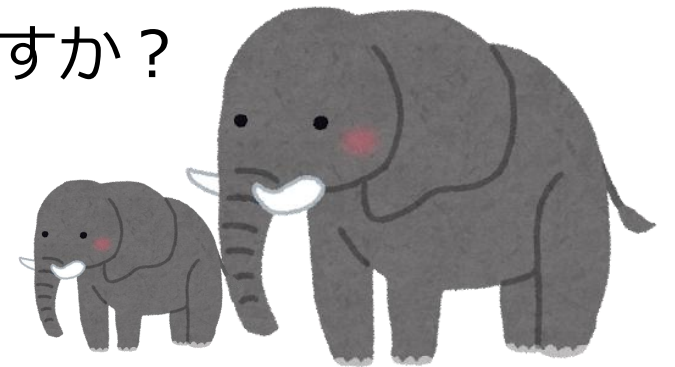
5-3 『腹落ち⇒我が事⇒協働』 への挑戦

『どう働きかければ、人は動くのか？（永遠の課題！）』

- ・ 『ナッジ理論』 を取り入れて、重層の意義と効果（メリット）を市内の関係者に 『分かりやすく』 伝えていきたい！

仕組み創り（協働）への 『**第一歩**』 を如何にして促すか？

ヒントは、行動経済学にあり！？



語句の説明

【S E C I モデル】 *ナレッジマネジメントの基礎理論

個人が蓄積した知識や経験（暗黙知）を組織全体で共有して形式知化し、新たな発見を得るための知識創造プロセス

【ナッジ理論】 *行動経済学の理論の一つ

人々が強制的にではなく、よりよい選択を自発的に取れるようにする方法を生み出すための理論

5-4 『活動評価』への挑戦

『評価なくして、改善なし！』

目下、重層的支援体制整備事業の評価指標の一つ
『A + B + Cモデル』を勉強中！

書籍『重層的支援体制整備事業における評価活動のすすめ』
を何度も読み直していますが、未だに理解できません！
(誰か教えてください・・・)



6 最後に『社協が重層に取り組む意義』を

叫んで終わりにします！ ＊閲覧注意

社協のみなさん、気づいていますか？

地域福祉を取り巻く状況が大きく『変化』する中

地域福祉の中核を担っている社協は

10年先も安泰だケロ・・・

現状維持では、もう生き残れないかも！？



6-1 重層は社協そのもの！

3年間取り組んできてよく分かった！

重層ほど『社協の存在意義』を示せる事業はない！

重層は、これまで積み上げてきた『社協事業の延長線上』にあります！

相談支援、アウトリーチ、多機関協働、特に『参加支援と地域づくり』

全部『社協の得意分野じゃないか！』

社協にとって重層は『新しい事業』ではない！

既存の社協事業（相談支援や地域づくり等）を昇華させ、
専売特許だった『ネットワークづくり』を強化することが
重層の充実（包括的な支援体制づくり）に繋がります！

つまり 『社協の充実 = 重層の充実』 なんです！

重層推進で難しいと言われる『参加支援』や『地域づくり』等
『マニュアル』や『一つの正解』『前例』がない取り組みなんて

『社協の超得意分野！！！！』

『失敗を恐れずチャレンジできる』ことが

『社協の強み』 だったはず！（いつから、おとなしくなった？）

6-2 せめて、社協らしく

- ・ 社協なら『失敗を恐れるな！』

真剣に考えて、チャレンジした結果に『失敗』なんてものはない！

本当の失敗は『何もしない』こと！

現状維持・前年踏襲・思考停止・指示待ち・・・

- ・ そろそろ、目覚めろ！

『地域福祉の中核を担う社協』と言われていたのは、昔の話・・・

『行政の役割が明記』された今、『現状維持』では、もう、生き残れない！

社協のみなさん『この現実』 どう思いますか？

地域福祉の推進に他の社会福祉法人やN P Oが台頭する中、

社会福祉法 第6条に 『行政の責務』 までが明記

包括的な支援体制づくりは、 行政が責任をもって進めていくのだと？

社協は、もう、あてにされていないのか？

6-3 断じて行えば、鬼神もこれを避く！

今の社協に必要なのは『**怒り**』と『**百折不撓の精神**』

これより先、私たちは『怒り』を『原動力』に変えて突き進む！

多職種連携の強化、包括的な支援体制づくりに住民主体の地域づくり・・・

まだまだ『できていないこと』の方が、はるかに多い！

しかも、頑張れば、頑張るほど、次々と大きな壁が立ちはだかる・・・

だが、どんな困難があっても私たちは、社協の仲間と共に乗り越えてやる！

重層事業を通して、もう一度『社協の存在意義』を見せつけてやる！

重層ほど『社協の存在意義』を示せる事業はない！

みんなで、『社協の底力』を
見せつけてやろう！



みなさん、ありがとうございました！

この『**ご縁**』をきっかけに情報交換しましょう！

社会福祉法人 稲沢市社会福祉協議会

福祉総合相談窓口 多機関協働事業（重層推進）担当

相談支援包括化推進員 加藤・北上・林

稲沢市稲府町1番地（稲沢市役所 東庁舎1階 福祉の拠点内）

0587-23-6713（社協共通） / 0587-32-1484（相談窓口直通）



令和6年度 重層推進に関連する事例発表・視察受入状況

【事例発表・研修講師】

- ・ 三重県NPO法人ふらっと（事務局：御浜町社協）様 次世代リーダー養成研修（多職種連携他）
- ・ 京都府亀岡市社協様 社協職員向け 重層研修会
- ・ 兵庫県丹波篠山市役所様 市内関係者向け 重層研修会
- ・ 佐賀県庁様 県下自治体（社協）職員向け 重層後方支援研修会

【視察受入】（本市の重層会議・対策支援チーム会議・ブラッシュアップ会議等の見学含む）

愛西市役所・社協 様 / 知多市社協 様 / 兵庫県明石市議会 様 / 静岡県菊川市社協 様
岐阜県下呂市社協 様 / 豊川市役所・社協 様 / 神奈川県海老名市役所・社協 様

私どもにとっても『貴重な学びの場、情報共有の場』となりました！
皆さんと『お知り合い』になれたことが何よりの財産です！
お越しいただき（お招きいただき）本当にありがとうございました！